

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

FOLFOXIRI + Bevacizumab療法

2週毎 コース予定

疾患名 大腸癌

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()
スケジュール

			day1	day2
ベバシズマブ	5 mg/kg		↓	
レボホリナート	200 mg/m ²		↓	
イリノテカン	165 mg/m ²		↓	
オキサリプラチン	85 mg/m ²		↓	
フルオロウラシル	3200 mg/m ²	46時間持続点滴	→	→

【注意】 * ベバシズマブの点滴時間は初回投与時は90分かけて点滴静注、2回目の投与は60分間で行ってよい。それ以降は忍容性が良好であれば、30分間投与でもよい。

* 必要時 化学療法開始前日から半夏瀉心湯7.5 g 3×毎食前 内服開始
または 重曹1.8 g 3×毎食後 内服 4日間

* イリノテカン使用前に腹痛・下痢がないことを確認する。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg) 1Cを内服

- | | | |
|---|----------------------------|--------------------|
| ① | 生食 500 mLにて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② | パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL | 側管静注 |
| ③ | デキサメタゾン注 6.6 mg + 生食 20 mL | 側管静注 |
| ④ | ベバシズマブ + 生食 適量(全量 100mL) | 点滴注射(90~30分) |
| ⑤ | イリノテカン + 5%ブドウ糖250 mL | 点滴静注60分(250 mL/時間) |

FOLFOXIRI + Bevacizumab療法

- ⑥ オキサリプラチン + 5%ブドウ糖250 mL
- ⑦ レボホリナート + 5%ブドウ糖250 mL
- ⑧ フルオロウラシル + 生食 適量(全量 140 mL)

同時滴下
2時間で点滴注射

インフューザーポンプ (3.7 mL/時間) にて46時間で持続点滴

インフューザーポンプに2日分(46時間分)を一度につめます

day 2, 3 アプレピタントカプセル(80 mg) 1C 1×朝 内服

day 2 - 4 必要時 デキサメタゾン錠 8 mg 内服

	コース	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
イリノテカン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
オキサリプラチン レボホリナート 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
フルオロウラシル (持続点滴) 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認							